

# 電話／テレビ電話

## 電話／テレビ電話のかけかた

テレビ電話について	54
電話／テレビ電話をかける	54
通話中に音声電話／テレビ電話を切り替える	58
自局電話番号を音声電話中画面に表示するかどうかを設定する	
..... <通話中自局番号表示設定>	60
リダイヤル／着信履歴を利用して電話をかける	60
..... <リダイヤル／着信履歴>	60
1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする	62
プッシュ信号 (DTMF) を送出する	63
国際電話を利用する	64
..... <WORLD CALL>	64
サブアドレスを指定して電話をかける	65
途切れた電話を再接続するときのアラームを設定する	65
..... <再接続アラーム>	65
車の中で手を使わずに話す	66
..... <車載ハンズフリー>	66

## 電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話を受ける	66
音声電話／テレビ電話への切り替えに応じる	69
自動で電話を受ける	69
..... <オートスピーカーホン機能>	69
通話中に相手の声の音量を調節する	70
..... <受話音量>	70
着信中に着信音の音量を調節する	71
..... <電話着信音量>	71

## 電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

すぐに電話に出られないとき保留にする	71
..... <応答保留>	71
公共モードを利用する	72
電話に出られないときに用件を録音／録画する	74
..... <伝言メモ>	74
着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する	76
..... <クイック伝言メモ>	76
伝言メモを再生／削除する	77

## テレビ電話の設定

テレビ電話中に画面の設定などを変更する	78
テレビ電話中の画面を設定する	80
..... <テレビ電話画面表示設定>	80
テレビ電話中の画面の明るさを設定する	81
..... <テレビ電話画面明るさ設定>	81
テレビ電話が繋がらないときの動作を設定する	81
..... <音声再発信設定>	81
テレビ電話をかけたときに自画像を送るかどうかを設定する	
..... <発信時自画像送信設定>	82
テレビ電話中の親画面の大きさを設定する	82
..... <テレビ電話画面大きさ設定>	82
音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する	83
..... <テレビ電話切替機能通知>	83
i モード中にテレビ電話がかかってきたときの対応方法を設定する	
..... <パケット通信中着信設定>	83

## テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。テレビ電話を利用すると、相手の声がスピーカーから聞こえ、相手の顔を見ながら通話できます。また、自分の映像の代わりにカメラオフ画像（→p.78）を送信することもできます。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP\*1で標準化された、3G-324M\*2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1 3GPP (3rd Generation Partnership Project)  
第3世代移動通信システム (IMT-2000) に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体

※2 3G-324M

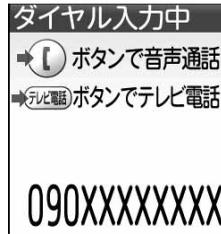
第3世代携帯テレビ電話の国際規格

- テレビ電話の通信速度には、次の2種類があります。
  - 64K：通信速度 64kbps で通信をします。
  - 32K：通信速度 32kbps で通信をします。

## 電話／テレビ電話をかける

- 相手の携帯電話の電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない所にいるときには、音声ガイダンスで接続できないことをお知らせします。
- ダイヤル発信制限中は、緊急通報（110番、119番、118番）以外は電話番号を入力して電話をかけることはできません。→p.159

## 1 待受画面で電話番号を入力する



- 一般電話にかけるときは、同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 最大80桁入力できます。
- **戻る**：電話番号を訂正できます。1秒以上押すと待受画面に戻ります。

## 2 発信方法を選択する

### ■ 音声電話をかけるとき

**戻る**を押す

「ブツブツ」 という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。



- ディスプレイには通話時間が表示されます。
- 通話中自局番号表示設定を「表示する」に設定している場合は、自分の電話番号が表示されます。→p.60
- 音声電話中に自分の位置を相手に知らせたり、今いる場所の情報を相手にメールで送信したりできます。→p.389

## ■ テレビ電話をかけるとき

テレビ電話を押す



- マナーモード中のときは、スピーカーホン機能を使用した通話に切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「**[1]**切替える」を押すと、スピーカーからの通話になります。「**[2]**切替えない」を押すと、受話口からの通話になります。
- 画面に「テレビ電話接続中」と表示された時点から通話料金ががかかります。
- 「ツーツー」という音が聞こえたときは、相手がお話中です。テレビ電話の場合は、「お話し中です」または「接続できませんでした」が表示されます。**(⏪)**を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直してください。リダイヤルを使うと便利です。→p.60
- 番号通知お願いのガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしておかけ直してください。→p.48、p.62

## 3 お話しが終わったら**(⏪)**を押す

- FOMA端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

## お知らせ

### <音声電話・テレビ電話共通>

- **(⏪)**または**(⏩)**を押してから電話番号を入力しても、約5秒経過すると自動的に電話がかかります。

### <テレビ電話のみ>

- カメラオフ画像(→p.78)を利用しても、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になりますのでご注意ください。
- テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージが表示され、自動的に待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

メッセージ	説明
番号をご確認の上おかけ直してください	使われていない電話番号です。
お話し中です	相手が話中です。*
電波が届かないか電源が入っていません	相手が電波が届かない所にいるか、電源が入っていません。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます(ビジュアルネットなどへの発信時)。
音声電話でおかけ直してください	相手が転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応の場合に表示されます。
パケット通信中です	相手がパケット通信中です。
iモードから接続してください	IP(情報サービス提供者)が提供しているサイトに接続してから、テレビ電話発信してください。
積算料金が既定の上限に達しました	リミット機能付料金プラン(タイプリミット、ファミリーワイドリミット)の上限額を超過しています。
接続できませんでした	上記のいずれにも該当しない場合に表示されます。

\*相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。

- テレビ電話をかけた場合、通常は64Kで発信されます。通信速度は、サブメニューから発信者番号通知/非通知を選択後に指定することができます。→p.63

- テレビ電話に対応したFOMA端末にテレビ電話をかける場合、通信速度は64Kでかけることをおすすめします。32Kによるテレビ電話は、ネットワーク状況によって64Kでのテレビ電話が利用できない機器と接続するためのものです。64Kでテレビ電話をかけたときでも相手が32Kエリアなどの通信環境だった場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。音声再発信設定（→p.81）を「かけ直す」に設定中でも、32Kでの再発信が優先されます。  
※ 32Kでテレビ電話接続をした場合でも、64Kで接続したデジタル通信料と同じになります。
- テレビ電話をかけてつながらなかった場合、次のように再発信が自動で行われます。

発信方法	音声再発信設定	再発信動作
64K	かけ直す	64K → 32K → 音声
	かけ直さない	64K → 32K → 切断
32K	かけ直す	32K → 音声
	かけ直さない	32K → 切断

※ 音声電話で再発信した場合、かかる通話料金は音声通話料になります。

- 音声再発信設定を「かけ直す」に設定中に FOMA 端末から緊急通報（110番、119番、118番）へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
- 音声自動再発信を「かけ直す」に設定している場合でも、相手やネットワークの状況によって再発信が行われないことがあります。
- 音声や映像の送受信に失敗した場合（**A** または **AV** が表示された場合）でも、そのまま通話が継続されることがあります。

## テレビ電話中の画面の見かた



- ① 親画面
- ② 通信速度  
64K : 64K    32K : 32K
- ③ 子画面
- ④ チャンネル開設状態  
**AV** : 音声チャンネル開設  
**AV** : 映像チャンネル開設  
**AV** : 音声・映像チャンネル開設
- ⑤ 表示倍率  
**x1** : 標準～  
**x12** : 12倍（外側カメラ）  
**x1** : 標準～  
**x2** : 2倍（内側カメラ）
- ⑥ くっきり補正設定  
表示なし：くっきり補正オフ  
**補正**：くっきり補正オン
- ⑦ 受話音量 / スピーカーホン音量  
**音量 1** ～ **音量 6** :  
受話音量 / スピーカーホン音量
- ⑧ 接写撮影  
表示なし：接写撮影解除  
**📷** : 接写撮影中（外側カメラ）
- ⑨ 通話時間  
分・秒の形式で表示

## 通話中保留

自分の声が相手に聞こえないように通話を保留にします。

- 保留中も、電話をかけた方に通話料金がかかります。
- 保留中にFOMA端末を折り畳むと、電話は切れます。

### 1 通話中に**決定**を押す

通話が保留になり、ランプが点滅します。自分のFOMA端末と相手にメロディ（エンターテイナー）が流れます。

通話保留は「はっきりボイス」が点滅します。



テレビ電話中保留画像

- 音声電話保留中に**決定** / **決定**を押す：保留を解除します。
- テレビ電話保留中に**決定**を押す：保留を解除して、保留前の通話状態に戻します。
- テレビ電話保留中に**決定**を押す：保留を解除して、相手にカメラオフ画像（→p.78）を送信します。
- テレビ電話保留中に**決定**を押す：保留を解除して、相手にカメラ映像を送信します。

## お知らせ

- 保留中に流れるメロディ（エンターテイナー）は変更できません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続して保留中にFOMA端末を折り畳んだ場合は、保留は継続されます。テレビ電話保留中の場合は、相手にテレビ電話中保留画像が送信されます。

## スピーカーホン機能の使いかた

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で通話できます。

- テレビ電話は自動的にスピーカーホン機能を使用した通話となります。

### 1 通話中に**決定**または**決定**を押す



スピーカーホン機能が切り替わります。

- **決定** または **決定** を押すたびにスピーカーホン機能を使用した通話と受話口からの通話が切り替わります。
- 発信中または呼出中に **決定** を押しても、スピーカーホン機能を使用した通話と受話口からの通話が切り替わります。

## お知らせ

- スピーカーホン機能を使用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなりますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
- FOMA 端末から約50cm以内の距離でお話ください。周囲や相手側の雑音大きい場合は、聞き取りにくいことがあります。その場合は受話口からの通話に切り替えてください。
- マナーモード中でもスピーカーホン機能を使用できます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続中は、本機能を使用できません。

## 音声電話中のはっきりボイスの設定

お買い上げ時 はっきりボイスオン

はっきりボイスをオンに設定すると、音声電話中に周囲の騒音レベルを測定し、一定レベルを超えて騒音が大きくなった場合に、自動で相手の声を強調し、聞き取りやすくします。また、相手や自分の声が小さいときにも自動で音量を大きくします。

- スピーカーホン機能使用中は、本機能は動作しません。
- はっきりボイスの設定は、通話終了後も保持されます。
- 本機能は受話音量を調節するものではありません。相手の声の音量は、受話音量で調節してください。→p.70

### 1 音声電話中に「5」はっきりボイスオフ」または「5」はっきりボイスオン」を押す



はっきりボイスをオンに設定すると青色で表示されます。  
スピーカーホン機能使用中はグレーで表示されます。

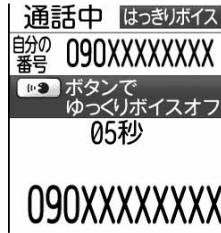
## 音声電話中のゆっくりボイスの設定

お買い上げ時 ゆっくりボイスオフ

音声電話中の相手の話す速度が調節されて聞き取りやすくなります。

- スピーカーホン機能使用中でも、本機能は動作します。
- ゆっくりボイスの設定は、通話終了後は解除されます。

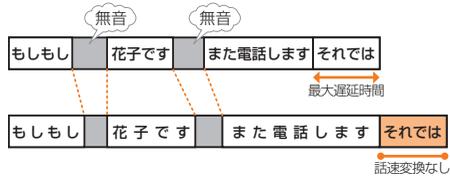
### 1 音声電話中に「5」を押す



- ゆっくりボイスを設定中に「5」:  
ゆっくりボイスを解除します。

### ゆっくりボイスとは

無音区間を利用して、相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節する機能です。



- ゆっくりボイスを設定すると、相手の声質が変化する場合があります。
- 相手が区切りのない話しかたをしたときなど、ゆっくりボイスが機能しない場合は、通常の速度に聞こえます。
- 時報や音楽などを聞くとときは、ゆっくりボイスを設定しないでください。

## 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替える

音声電話またはテレビ電話をかけた側の端末からのみ、切り替え操作ができます。

- 音声電話／テレビ電話切り替え対応機種只有这样ご利用いただけます。
- 音声電話とテレビ電話の通話時間に応じて、通話料金がそれぞれ加算されます。
- 切り替え操作を行うには、相手がテレビ電話切替え通知を開始している必要があります。  
→p.83

## 音声電話中にテレビ電話へ切り替える

### 1 通話中に「1」テレビ電話へ切替」を押す

テレビ電話への切替えを行いますか？

- 1 切替える
- 2 切替えない

### 2 「1」切替える」を押す

切替中画面が表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

- 「2」切替えない」:

音声電話中の画面に戻ります。

### 3 画面に相手の映像が表示されたら、通話する



- テレビ電話に切り替わると、自動的にスピーカーホン機能を使用した通話になります。

## テレビ電話中に音声電話へ切り替える

### 1 通話中に「1」音声電話へ切替」を押す

音声電話への切替えを行いますか？

- 1 切替える
- 2 切替えない

### 2 「1」切替える」を押す

切替中画面が表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

- 「2」切替えない」:

テレビ電話中の画面に戻ります。

### 3 音声電話の通話中画面が表示されたら、通話する



- 音声電話に切り替えると、スピーカーホン機能は解除されます。

## お知らせ

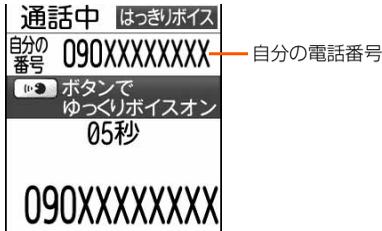
- 切り替えには5秒間程度かかります。電波状態によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
  - 切替中画面が表示されている間は、料金は加算されません。
  - 電波状態によっては、音声電話とテレビ電話の切り替えができません、電話が切れる場合があります。
  - 切り替えは繰り返し行えます。
  - キャッチホンでの音声電話中は、テレビ電話に切り替えられません。
  - テレビ電話に切り替えようとしたときに相手側がパケット通信中の場合は、切り替えができない旨のメッセージが表示され、音声電話が継続されます。
  - カメラの切り替えやくっきり補正、カメラオフ画像の送信などテレビ電話中に行った設定は、音声電話とテレビ電話を切り替えるたびに解除されます。
- p.78

## 通話中自局番号表示設定

## 自局電話番号を音声電話中画面に表示するかどうかを設定する

お買い上げ時 表示する

本機能を「表示する」に設定した場合、音声電話中の画面に自分の電話番号が表示されます。



- 1 待受画面で 「[#] 詳細な機能・設定」▶「[5] 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「[✕] 通話中に自分の番号を表示する」を押す  
通話中に自分の電話番号を表示するかどうかの確認画面が表示されます。

- 2 「[1] 表示する」または「[2] 表示しない」を押す  
通話中の自局番号表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。

- 3 **決定** を押す  
メニュー画面に戻ります。  
● を押すと待受画面に戻ります。

リダイヤル／着信履歴 メニュー 12 / 11

## リダイヤル／着信履歴を利用して電話をかける

音声電話、テレビ電話の発信履歴（リダイヤル）と着信履歴を記録しておく機能です。音声メモに録音されたときも、伝言メモに録音または録画されたときも記録されます。

- リダイヤルと着信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 同じ電話番号に通知または非通知を設定してかけた場合は、それぞれ最新の1件のみがリダイヤルに記録されます。
- 着信履歴には、不在着信の場合、着信してから相手が呼び出しを止めるまでの時間（呼出時間）が表示されます。覚えのない番号からの不在着信があった場合、着信履歴を残す目的だけの迷惑電話（「ワン切り」など）なのかどうかを確認できます。伝言メモに録音または録画されたときの履歴も記録されます。
- 音声メモは、常に最新の通話から4件分が記録されます。その結果、1件のリダイヤルに複数の音声メモが記録されることがあります。
- 履歴表示制限中は、本機能を使用できません。→p.157

- 1 待受画面で （リダイヤル）または （着信履歴）▶ を押してかけ直す相手を表示する

## ■ リダイヤル画面の見かた



- ① リダイヤルの番号
- ② 音声メモが録音されている場合
- ③ 電話をかけた日付、曜日、時間
- ④ 国際電話をかけた場合→p.64
- ⑤ 発信の種類（音声電話／テレビ電話）
- ⑥ 発信者番号の通知／非通知→p.62
- ⑦ 電話帳に登録している場合は名前→p.86
- ⑧ 電話番号（国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます）

## ■ 着信履歴画面の見かた



- ① 着信履歴の番号
- ② 不在着信の場合は**不在**、伝言メモが録音または録画されている場合は**伝言メモ**、音声メモが録音されている場合は**音声メモ**
- ③ 電話がかかってきた日付、曜日、時間
- ④ 国際電話がかかってきた場合
- ⑤ 着信の種類（音声電話／テレビ電話／64Kデータ）
- ⑥ 不在着信の呼出時間
- ⑦ 電話帳に登録している場合は名前→p.86  
発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由→p.68
- ⑧ 電話番号（国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます）

## 2 (C)を押す

音声電話がかかります。

- (テレビ電話):

テレビ電話をかけます。

- 音声メモが録音されている着信履歴は、**決定**を押すと音声メモを再生できます。音声メモが録音されているリダイヤルの場合は、再生する音声メモの選択画面が表示されます。
- 伝言メモが録音または録画されている着信履歴は、**決定**を押すと伝言メモを再生できます。

## ■ i モードメールを作成するとき

メニュー▶「(C)メールを作る」を押す

リダイヤル／着信履歴の電話番号をメールアドレスとともに電話帳に登録している場合は、その1件目のメールアドレスを宛先にしたメール作成画面（→p.291）が表示されます。

## かかってきた電話に出なかったとき（不在着信）

かかってきた電話に出なかったときは、待受画面に新着情報（→p.26）と (C)が表示されます。また、FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに**着信**が表示されます。

## お知らせ

- 無音着信時間設定（→p.164）で設定した無音着信時間内の不在着信も含め、すべての着信履歴を表示する場合は、着信履歴の表示画面で (C)▶「(X)表示切替」▶「(1)すべての着信」を押します。通常の着信履歴表示に戻す場合は、(C)▶「(X)表示切替」▶「(2)呼出あり着信」を押します。
- 無音着信時間設定で設定した無音着信時間内の不在着信のみが着信履歴に記録されている場合、待受画面で (C)を押すと、表示されていない不在着信履歴がある旨の確認画面が表示されます。「(1)表示する」を押すと、無音着信時間内の不在着信履歴が表示されます。
- 「010」を直接入力したり、「010」を電話帳に登録して発信したりした場合は、国際電話のマークと「+」は表示されません。
- 会社などでダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持つサービスです）。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合、着信履歴には着信時の種別（音声電話またはテレビ電話）が記録されます。
- 音声電話中にリダイヤル／着信履歴を表示する場合は、(C)▶「(3)着信履歴を見る」または「(4)リダイヤルを見る」を押します。

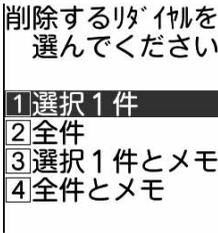
## リダイヤル／着信履歴の削除

1件ずつ、またはすべてのリダイヤル／着信履歴をまとめて削除できます。伝言メモが録音または録画されている着信履歴は、伝言メモを同時に削除することもできます。音声メモが録音されているリダイヤル／着信履歴は、音声メモを同時に削除することもできます。

〈例〉1件削除するとき

- 1 待受画面で (C)（リダイヤル）または (C)（着信履歴）▶ (C)▶ (C)を押して削除する相手を表示する

## 2 「[4]削除する」を押す



<リダイヤルの削除選択画面>

- 1 選択1件:  
表示していた1件のリダイヤル／着信履歴を削除します。
- 2 全件:  
リダイヤル／着信履歴を全件削除します。
- 3 選択1件とメモ:  
表示していた1件のリダイヤル／着信履歴と、伝言メモまたは音声メモを削除します。
- 4 全件とメモ:  
リダイヤル／着信履歴と、伝言メモや音声メモを全件削除します。

## 3 「[1]選択1件」または「[3]選択1件とメモ」▶ 「[1]削除する」を押す

削除した旨のメッセージが表示されます。

- 全件削除するとき  
「[2]全件」または「[4]全件とメモ」▶  
4～8桁の端末暗証番号を入力▶ **決定**  
▶ 「[1]削除する」を押す  
削除した旨のメッセージが表示されます。

## 4 **決定**を押す

リダイヤル／着信履歴の表示画面に戻ります。リダイヤル／着信履歴がない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

# 1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

電話をかけるときに相手の電話番号の前に特定の番号を付けることで、自分の電話番号を相手に通知するか通知しないかを選択できます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
- 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
- 自分の電話番号を相手に通知するかどうかを設定するには、次の方法があります。
  - 電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知をあらかじめ一括して設定→p.48
  - 電話番号の前に「186」または「184」を付けて発信→p.62
  - 電話をかけるときに発信者番号の通知／非通知をサブメニューから選択→p.63

## 「186」／「184」を付けた電話のかけかた

### 「186」を付けて発信する

相手に電話番号を通知します。

- 1 待受画面で   ▶ 電話番号を入力▶ を押す  
音声電話がかかります。  
● :  
テレビ電話をかけます。

### 「184」を付けて発信する

相手に電話番号を通知しません。

- 1 待受画面で   ▶ 電話番号を入力▶ を押す  
音声電話がかかります。  
● :  
テレビ電話をかけます。

## サブメニューからの通知／非通知の選択

電話番号を入力してから発信者番号の通知／非通知を選択します。リダイヤルや着信履歴などから電話をかけるときにも選択できます。

### 1 待受画面で電話番号を入力▶<sup>メニュー</sup>を押す

- 1 電話帳に登録
- 2 電話帳に追加
- 3 通知で音声電話
- 4 非通知音声電話
- 5 通知でテレビ電話
- 6 非通知テレビ電話
- 7 ワールドコール
- 8 簡易サイト接続

### 2 「3通知で音声電話」～「6非通知テレビ電話」のいずれかを押す

#### ■ 音声電話をかけるとき

「3通知で音声電話」または「4非通知音声電話」を押す  
音声電話がかかります。

#### ■ テレビ電話をかけるとき

① 「5通知でテレビ電話」または「6非通知テレビ電話」を押す  
通信速度（→p.54）の選択画面が表示されます。

② 「164Kテレビ電話」または「232Kテレビ電話」を押す  
テレビ電話がかかります。

- リダイヤル／着信履歴から操作するときは、「5通知で音声電話」～「6非通知テレビ電話」のいずれかを押します。

## お知らせ

- 電話をかけたとき、発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知しておかけ直してください。
- 複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次のような順位（①→③）で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知の発信が異なる場合があります。
  - ① 相手の電話番号に「186」または「184」を付けた場合

- ② 発信時にサブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択した場合
  - ③ 発信者番号通知の設定をした場合
- 相手の電話番号に「186」または「184」を付けて発信した場合、リダイヤルにはその番号がついた電話番号が記録されます。

## プッシュ信号(DTMF)を送出する

FOMA端末からプッシュ信号(DTMF)を送って、ご自宅の留守番電話や各種のプッシュホンサービスなどを操作できます。また、音声電話をかけるときにポーズやタイマーを入力することにより、番号を区切って送送することができます。

- ポーズとタイマーは音声電話にのみ有効です。

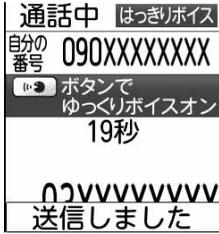
### 通話中にプッシュ信号(DTMF)を送出する

#### 1 通話中に0<sup>ひろ</sup>～9<sup>ひろ</sup>、\*<sup>へろ</sup>、#<sup>まろ</sup>を押す

#### ポーズ「P」を入力する

ご自宅の留守番電話の操作やチケットの予約などに利用します。

- #### 1 待受画面で電話番号を入力▶\*<sup>へろ</sup>を1秒以上▶送送する番号を入力▶<sup>へろ</sup>を押す
- 〈例〉03XXXXXXXXXP12345 で発信したとき  
電話がつながった後に**決定**を押すと、ポーズ（「P」）以降の番号が送送されます。



点滅します。

### タイマー「T」を入力する

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。外線番号と内線番号の間にタイマー（「T」）を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

#### 1 待受画面で電話番号を入力▶を1秒以上▶内線番号を入力▶を押す

- タイマー（「T」）1つにつき、約1秒の間隔をとります。
- タイマー（「T」）は連続して入力できません。

#### 

- プッシュ信号（DTMF）は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- 通話中にスピーカーホン機能を使用してプッシュ信号（DTMF）を送出する場合は、を押してスピーカーホンを切り替えてください。
- 通話を保留にして別の相手にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力して電話をかけることはできません。

## WORLD CALL

# 国際電話を利用する

### ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

#### ● 通話方法

▶国番号▶地域番号(市外局番)▶電話番号を入力▶を押す

※ 上記の電話番号をFOMA端末の電話帳に登録できます。

※ 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

※ 009130▶010▶国番号▶地域番号(市外局番)▶電話番号でもかけられます。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
- 申込手数料・月額使用料はかかりません。
  - ※ FOMA サービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています(ただし、不要のお申し出をされた方を除きます)。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
  - ※ ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後にテレビ電話モード（発信時に<sup>テレビ電話</sup>を押す）で発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。

- 接続可能な国および通信事業者等の情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

## 簡単な方法による国際電話のかけかた

- 1 待受画面で国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶<sup>メニュー</sup>▶「[7]ワールドコール」を押す



- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

- 2 <sup>テレビ電話</sup>を押す

国際電話がかかります。

- <sup>テレビ電話</sup>：

国際電話をテレビ電話でかけます。

### お知らせ

- 国番号を含めた電話番号をあらかじめ電話帳に登録しておくと、簡単に国際電話をかけることができます。→p.101「発信方法を選択した電話のかけかた」
- 待受画面で<sup>テレビ電話</sup>を1秒以上押して「+」を入力した後、国番号、市外局番、電話番号を入力し<sup>テレビ電話</sup>を押しても、国際電話をかけることができます。

## サブアドレスを指定して電話をかける

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出します。

- サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。

また、映像配信サービス「Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

- 1 待受画面で電話番号を入力▶<sup>テレビ電話</sup>▶（サブアドレスの区切り）▶サブアドレスを入力▶<sup>テレビ電話</sup>を押す
- 音声電話がかかります。

- <sup>テレビ電話</sup>：

テレビ電話をかけます。

### お知らせ

- ポーズ（「P」）やタイマー（「T」）を入力した後に「\*」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「\*」を含んだプッシュ信号（DTMF）として送出されます。

## 再接続アラーム 途切れた電話を再接続するときのアラームを設定する

お買い上げ時 低音で鳴らす

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた音声電話やテレビ電話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラームを設定します。

- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
- 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。

- 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れてしまう場合があります。

1 待受画面で  「[#]詳細な機能・設定」▶ 「[6]音を設定する」▶ 「[5]再接続した時の音を選ぶ」を押す  
アラーム音の選択画面が表示されます。

2 「[1]高音で鳴らす」～「[3]鳴らさない」のいずれかを押す  
アラーム音を設定した旨のメッセージが表示されます。

3 **決定**を押す  
メニュー画面に戻ります。  
● を押すと待受画面に戻ります。

### 車載ハンズフリー

## 車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット 01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット 01（別売）をご利用時には、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

### お知らせ

- 着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA 端末の設定に従います。ただし、ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA 端末でマナーモード中や着信音設定を「鳴らさない」に設定していても、電話がかかってくるとハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA 端末を折り畳んでも通話は継続されます。
- 公共モード中の着信動作は、公共モードの設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。

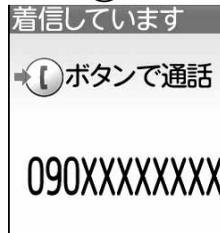
- ハンズフリー対応機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、ハンズフリー対応機器からの通信速度設定に従います。設定されていない場合は、64K 固定でテレビ電話を発信しします。
- ハンズフリー対応機器からテレビ電話をかけたり受けたりした場合、相手にはカメラオフ画像（→p.78）が送信されます。

## 電話／テレビ電話を受ける

- FOMA 端末を開くだけでは電話に出ることはできません。

### 1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、音声電話の場合はランプと  が、テレビ電話の場合はランプ、 が点滅します。



- 着信画面の見かた→p.67
- FOMA 端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「電話です」または「テレビ電話着信中」が表示されます。

### 2 着信方法を選択する

#### ■ 音声電話を受けるとき

を押す

- ディスプレイには通話時間が表示されます。

## ■ テレビ電話を受けるとき

を押す



相手とつながるまではテレビ電話接続中の状態となり、画面には自分の映像が表示されます。

- :  
応答を保留します。→p.71
- :  
カメラオフ画像でテレビ電話を受けます。テレビ電話がつながったときから、相手にはカメラ映像の代わりにカメラオフ画像(→p.78)が送信されます。
- マナーモード中のときは、スピーカーホン機能を使用した通話に切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「**[1]**切替える」を押すと、スピーカーからの通話になります。「**[2]**切替えない」を押すと、受話口からの通話になります。

## 3 お話しが終わったら を押す

- FOMA端末を折り畳んでも電話を切ることができます。

## お知らせ

- 電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときに、着信音などの呼出動作をすぐに開始しないように設定したり(→p.164)、着信を拒否したり(→p.166)できます。
- 電話帳に登録している相手に対して、着信拒否を設定できます。→p.160
- ビル電話やPBXなど、ダイヤル市外通話のできない電話機からは、FOMA端末へ電話をかけられません。

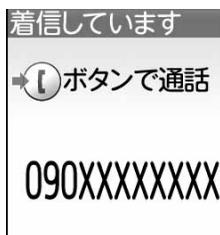
## 着信画面の見かた

相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、電話番号や名前、画像などがディスプレイに表示されます。

- 電話番号が通知されたときは、背面ディスプレイにも電話番号や電話帳に登録している名前が表示されます。電話番号が通知されていないときは、発信者番号非通知理由が表示されます。
  - 背面ディスプレイに情報を表示しないように設定できます。→p.136

## ■ 相手の電話番号が通知されたとき

相手の電話番号を電話帳に登録していない場合は、相手の電話番号が表示されます。



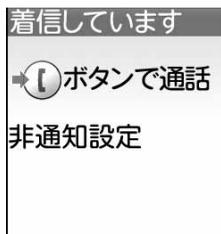
- 着信音に映像のある動画/i モーションを設定している場合は、その映像が表示されます。

相手の電話番号を電話帳に登録している場合は、相手の名前と電話番号が表示されます。→p.86



- ワンタッチダイヤルに登録している場合は、相手の名前とワンタッチダイヤルに設定した着信画像が表示されます。→p.105
- ワンタッチダイヤルの着信音に映像のある動画/i モーションを設定している場合は、その映像が表示されます。動画/i モーションが音声のみ(歌手の歌声など映像のないi モーション)の場合は、ワンタッチダイヤルに設定した着信画像が表示されます。

- 相手の電話番号が通知されなかったとき  
発信者番号非通知理由が表示されます。



非通知理由	意味
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

- 音声電話がかかってきた場合、非通知理由別着信設定で設定した着信動作が優先されます。→p.163

## お知らせ

- FOMA端末から転送された電話がかかってきた場合は、着信画面の左下に転送元の電話番号が「転:XXX…」のように表示されます。転送元の電話番号を電話帳に登録している場合は名前が表示されます。ただし、転送元によっては、転送元の電話番号や名前が表示されないことがあります。着信音に映像のある動画 / i モーションを設定している場合や、ワンタッチダイヤルに発信元の電話番号を登録している、着信画像を設定している場合は、転送元の電話番号は表示されません。
- 音声電話中にメールを受信すると受信中に 、メッセージR/Fを受信すると受信中に  がディスプレイ上部に点滅表示されます。メールの受信が完了した場合は、ディスプレイ上部に  が表示されます。電話を切って待受画面に戻ると、メールを受信した場合は未読メールがあることを示す 、メッセージR/Fを受信した場合は未読のメッセージR/Fがあることを示す  がディスプレイ下部に表示されます。また、メールを受信した場合は新着情報も表示されます。→p.26
- 国際電話を着信した場合、発信者番号の先頭に「+」が表示されます。

## 着信中のサブメニューからの操作

音声電話またはテレビ電話の着信中に、サブメニュー（→p.33）から次の操作ができます。通話中着信動作選択（→p.532）を「通常着信する」に設定していると、音声電話中に別の音声電話がかかってきたときも同様に操作できます。

サブメニュー	説明
① 伝言メモ※ <sup>1</sup>	伝言メモで対応します（クイック伝言メモ）。
② 留守番電話※ <sup>2</sup>	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
③ 転送でんわ※ <sup>3</sup>	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。
④ 着信拒否	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。

- ※<sup>1</sup> 通話中に別の電話がかかってきたときは選択できません。
- ※<sup>2</sup> 留守番電話サービスをご契約いただいている場合に有効です。
- ※<sup>3</sup> 転送でんわサービスをご契約いただき、転送先を登録している場合に有効です。

## 音声電話中に「プブ…プブ…」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに「プブ…プブ…」という通話中着信音が聞こえます。このとき、次の動作が可能です。

ご契約の内容	動作
留守番電話サービス※	留守番電話サービスセンターに接続します。→p.526
キャッチホン	通話中の音声電話を保留にして、かかってきた電話に応答します。→p.528
転送でんわサービス※	転送登録先へ転送します。→p.528

- ※ 通話中着信動作選択を「通常着信する」に設定した場合に限り、選択できます。→p.532

## 音声電話／テレビ電話への切り替えに応じる

音声電話をかけてきた相手がテレビ電話に切り替えたときや、テレビ電話をかけてきた相手が音声電話に切り替えたときには、対応する操作が必要です。

- 切り替えは、電話をかけた側の端末からのみ操作できます。
- テレビ電話や音声電話への切り替えに応じるには、テレビ電話切替え通知を開始しておく必要があります。→p.83

### テレビ電話への切り替えに応じる

#### 1 音声電話中にテレビ電話への切り替え要求を受ける

切替中画面が表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。自分の画像を相手に表示するかどうかの確認画面が表示されます。

#### 2 「[1]表示する」を押す

テレビ電話に切り替わり、相手にカメラ映像が送信されます。

- 「[2]表示しない」:  
相手にカメラオフ画像 (→p.78) が送信されます。

#### 3 画面に相手の映像が表示されたら、通話する

画面には相手の設定により、相手の映像またはカメラオフ画像などが表示されます。

### 音声電話への切り替えに応じる

#### 1 テレビ電話中に音声電話への切り替え要求を受ける

切替中画面が表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

#### 2 通話中画面が表示されたら、通話する

#### オートスピーカーホン機能

### 自動で電話を受ける

お買い上げ時 解除する

音声電話がかかってきて着信音が約4秒間鳴った後、自動で電話を受けるように設定します。電話を受けるとスピーカーから相手の声が聞こえます。

- 本機能を設定すると、音量が大きくなりますので、FOMA 端末を耳から離して使用してください。
- スピーカーホン機能を使用するときは、FOMA 端末から約50cm以内の距離でお話ください。
- 公共モード中またはマナーモード中は、本機能は動作しません。→p.72、p.132
- 本機能は音声電話にのみ有効です。

#### 1 待受画面で 「[#]詳細な機能・設定」▶ 「[5]電話・電話帳の詳細を設定する」▶ 「[8]オートスピーカーホンを設定する」を押す

オートスピーカーホンを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- マナーモード中は、マナーモードを解除するかどうかの確認画面が表示されます。本機能を設定するときは「[1]解除する」を押します。

#### 2 「[1]設定する」を押す

オートスピーカーホンを設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「[2]解除する」:  
オートスピーカーホン機能を解除します。

### 3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。
- オートスピーカーホンの設定中はディスプレイ上部に が表示されます。

### お知らせ

- 電話を受けた後の動作は、スピーカーホン機能を使用した通話と同様です。→p.57
- 次の場合は、本機能を設定していても動作しません。
  - ・自動的に電話がつながる前に を押して電話を受けた場合
  - ・通話中に電話がかかってきた場合
  - ・FOMA端末を折り畳んでいる場合
  - ・平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や外部機器などを接続中の場合
- 本機能と無音着信時間設定（→p.164）を同時に設定している場合、無音着信時間を4秒以上に設定すると、本機能は動作しません。
- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。
- 電話帳指定着信拒否/許可（→p.161）、非通知理由別着信設定（→p.163）、登録外着信拒否（→p.166）を設定中は、着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。

### 受話音量

## 通話中に相手の声の音量を調節する

お買い上げ時 音量4

- 音量1～6の6段階で調節できます。
- 通話中に変更した受話音量は、電源を切っても保持されます。
- 待受中の音量設定→p.126

### 1 通話中に または を押す

相手の声の音量を調節してください



- テレビ電話中の音量調節は のみ有効です。

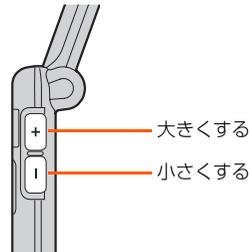
### 2 または を押して音量を調節する

- 次のボタンを押して音量を調節できます。

<マルチカーソルボタンを使うとき>



<音量ボタンを使うとき>



- **決定**、**戻る**、**電話切替**を押すか、ボタンの操作を止めてしばらくすると音量が設定され、通話中の画面に戻ります。

### 電話着信音量

## 着信中に着信音の音量を調節する

お買い上げ時 音量4

- 消音、音量1～6の7段階で調節できます。
- 着信中に変更した着信音量は、電話を切ると元に戻ります。
- 待受中の音量設定→p.124

### 1 着信中に または または を押す

電話の呼出音量を調節してください



- 音量1のときに  /  /  : 「消音」に設定します。

### 2 または を押して音量を調節する

- 音量調節→p.70「通話中に相手の声の音量を調節する」操作2

### 応答保留

## すぐに電話に出られないとき保留にする

- 応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

### 1 着信中に を押す

応答保留になります。相手には「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直してください。」という応答保留ガイダンスが流れます。

- テレビ電話の場合は、相手には応答保留ガイダンスとともにテレビ電話応答保留画像が送信されます。



<音声電話応答保留中>



<テレビ電話応答保留中>

- 応答保留中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに「応答保留中」または「テレビ電話応答保留中」が表示されます。
- 応答保留中に  を押すか、相手が電話を切ると、通話は切れます。

### 2 電話に出られる状態になったら を押す

- テレビ電話の応答保留中に  : 保留を解除しカメラ映像を送信します。
- テレビ電話の応答保留中に  : 保留を解除しカメラオフ画像(→p.78)を送信します。

### お知らせ

- オートスピーカーホン機能を設定中は、着信してからオートスピーカーホン機能が動作するまでの約4秒間に応答保留の操作を行ってください。→p.69

## 公共モードを利用する

### 公共モード（ドライブモード）を起動する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。

- 公共モードの設定や解除は、待受中のみできます。ディスプレイ上部に  が表示されているときでも可能です。
- 公共モード中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- マナーモード中、伝言メモ設定中でも、公共モードが優先されます。
- 緊急通報（110番、119番、118番）をすると、本機能は解除されます。

### 1 待受画面で を1秒以上押す

公共モード（ドライブモード）を設定した旨のメッセージが表示されます。

#### ■ 公共モードを解除するとき

公共モード中に待受画面で  を1秒以上押す

公共モードを解除した旨のメッセージが表示されます。

### 2 決定を押す



- 本機能を設定中は待受画面に  が表示されます。FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに  が表示されます。
- 着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直してください。」というガイダンスが流れます。

### 公共モード（ドライブモード）を設定すると

音声電話がかかってきたときは相手に運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。テレビ電話がかかってきたときは相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され、電話が切れます。いずれの場合も、お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には新着情報（→p.26）が表示され、着信履歴に記録されます。

- 次の音が鳴りません。また、バイブレータやランプも動作しません。
  - 電話および64Kデータ通信の着信音
  - メールやメッセージR/Fの着信音
  - 目覚ましや予定のアラーム音
  - ナビソフトの音
  - 脳力ストレッチの音
  - 待受中の電池残量警告音\*
  - 充電開始/完了音
  - GPSの位置提供中の音
  - バーコード読み取りの確認音

※ FOMA端末を折り畳んでいるとき、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示もされません。

- FOMA端末を折り畳んでいる場合に、電話の着信、メールやメッセージR/Fを受信したときなどは、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。
- GPSの位置提供の要求があっても、サービスごとの利用設定を「毎回確認」に設定している場合は、位置情報を送信しません。
- iチャンネルのテロップは表示されません。

## 公共モード(電源OFF)を設定する

公共モード(電源OFF)は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード(電源OFF)を設定すると、電源を切っている間の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近など)にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。

### 1 待受画面で を押す

公共モード(電源OFF)が設定されます(待受画面上の変化はありません)。

公共モード(電源OFF)設定後、電源を切っている間の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直してください。」というガイダンスが流れます。

#### ■ 公共モードを解除するとき

公共モード中に待受画面で を押す  
公共モードが解除されます。

#### ■ 公共モードの設定内容を確認するとき

待受画面で を押す  
現在の設定内容のガイダンスが流れます。

### 公共モード(電源OFF)を設定すると

音声電話がかかってきたときは、相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。テレビ電話がかかってきたときは、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され、電話が切れます。

- 「\*25250」をダイヤルして公共モード(電源OFF)を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
- サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード(電源OFF)のガイダンスが流れます。

## ネットワークサービスと公共モード(ドライブモード/電源OFF)中の着信動作

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モードのガイダンスが流れ、留守番電話サービスセンターに接続されます。*	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス	相手に公共モードのガイダンスが流れ、転送先に転送されます。*相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、転送先に転送されます。転送先がテレビ電話に対応していない場合は切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手を着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否のガイダンスが流れ切断されます。	相手を着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示され、切断されます。
番号通知お願いサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れ切断されます。</li> <li>● 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスが流れ切断されます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが表示され切断されます。</li> <li>● 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され切断されます。</li> </ul>

※ 呼出時間が「0秒」の場合は公共モードのガイダンスは流れず、着信履歴には記録されません。

## 伝言メモ

## 電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを設定しておく、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、音声電話がかかってきた場合は相手の用件を録音します。テレビ電話がかかってきた場合は録画します。

- 音声電話とテレビ電話を合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音／録画できます。
- 履歴表示制限中や個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。ただし、履歴表示制限中でも録音／録画されます。→p.157、p.158

## 伝言メモの設定

メニュー 152

お買い上げ時 停止する

1 待受画面でを1秒以上押す

伝言メモを設定した旨のメッセージが表示されます。

## ■ 伝言メモを停止するとき

伝言メモ設定中に待受画面でを1秒以上押す

伝言メモを停止した旨のメッセージが表示されます。

## 2 決定を押す

待受画面に戻ります。

- 伝言メモ設定中は待受画面に（黒）が表示されます。

## お知らせ

- 伝言メモが4件録音または録画されると、待受画面に（赤）が表示されます。この場合、伝言メモを停止してもマークは消えず、新たに伝言メモを設定することもできません。不要な伝言メモを削除してから操作をやり直してください。→p.78

## 伝言メモを設定したときは

- 伝言メモを設定していても電話を受けられません。

## 1 電話がかかってくる

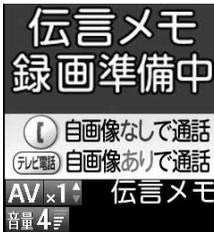
呼出時間設定の設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモ応答中の画面が表示され、相手には伝言メモ応答メッセージが流れます。

## 伝言メモ応答中



携帯花子  
090XXXXXXXXX

&lt;音声電話伝言メモ応答中&gt;



&lt;テレビ電話伝言メモ応答中&gt;

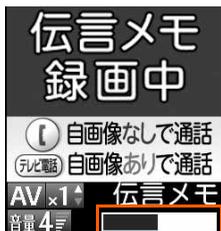
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「伝言メモ起動中」または「テレビ電話伝言メモ中」が表示されます。

## 2 相手のメッセージが録音または録画される



録音終了までの目安が表示されます。

<音声電話伝言メモ録音中>



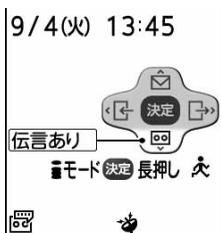
録画終了までの目安が表示されます。

<テレビ電話伝言メモ録画中>

- 録音または録画の開始時と終了時に相手には「ピーッ」と音が鳴ります。また、録音または録画開始時から約25秒後に、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

## 3 録音または録画が終了すると、電話が切れる

伝言メモが録音または録画されると、待受画面に新着情報（→p.26）とが表示されます。



- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイにが表示されます。

## お知らせ

- 伝言メモ応答中、伝言メモ録音または録画中でも電話に出ることができます。音声電話の場合はを押します。テレビ電話の場合はを押すと相手にカメラ映像を送信し、を押すとカメラオフ画像（→p.78）を送信します。音声電話の場合は、電話を受けるまでの録音内容は音声メモ（→p.471）として記録されます。
- FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にいるときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービスをご利用ください。
- 伝言メモがすでに4件録音または録画されている場合は、伝言メモ機能は動作せずに着信音が鳴り続けます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが動作します。
- 電波状態により、伝言メモの録音内容が途切れたり、録画画像が乱れたりする場合があります。
- 伝言メモが録音または録画された場合でも、着信履歴に記録されます。

## 録音または録画開始までの時間設定 <呼出時間設定>

**お買い上げ時** 13秒

電話がかかってきてから応答メッセージが流れるまでの時間を設定します。

- 1 待受画面で▶「**1**電話帳・伝言メモ・履歴を使う」▶「**5**伝言メモを使う」▶「**2**伝言メモを設定する」▶「**3**呼出時間設定」を押す

伝言メモの呼出時間を設定してください  
(0~120秒)

**13**秒

- 2 呼出時間を入力▶**決定**を押す  
呼出時間を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 0~120秒の間で設定します。

### 3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

#### お知らせ

- オート着信機能設定（平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続時→p.501）、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの呼出時間を各サービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されない場合があります。
- オート着信機能設定（→p.501）の応答時間と本機能の呼出時間を同じ時間に設定できません。
- オートスピーカーホン機能（→p.69）と本機能を同時に設定している場合、本機能の呼出時間を3秒以下に設定していると本機能が動作します。
- 無音着信時間の設定に関わらず、着信した時点から伝言メモの呼出時間がカウントされます。→p.164

### 伝言メモ応答メッセージの選択 ＜伝言メモメッセージ選択＞

お買い上げ時 標準

- 応答メッセージは、次の3種類から選択できます。

種類	内容
1 標準	ただいま、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話してください。
2 会議中用	会議中のため、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話してください。
3 移動中用	移動中のため、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話してください。

### 1 待受画面で ▶ 「1 電話帳・伝言メモ・履歴を使う」 ▶ 「5 伝言メモを使う」 ▶ 「3 伝言メモの応答メッセージを選ぶ」を押す

応答メッセージの選択画面が表示されます。

- :

応答メッセージを再生します。

- 応答メッセージ再生中に



再生中の応答メッセージの音量を調節します。

- 応答メッセージ再生中に :

受話口からの再生とスピーカーホン機能を使用した再生を切り替えます。

### 2 「1 標準」～「3 移動中用」のいずれかを押す

伝言メッセージを設定した旨のメッセージが表示されます。

### 3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

#### クイック伝言メモ

### 着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモが停止中でも、着信中に操作を行うと、その着信に限り伝言メモを動作させることができます。

- この操作は、伝言メモを設定するものではありません。

- 1 着信中に  「1 伝言メモ」を押す
- 伝言メモ応答中の画面が表示され、相手のメッセージが録音または録画されます。

### お知らせ

- 伝言メモがすでに4件録音または録画されている場合は、本機能を使用できません。不要な伝言メモを削除してください。→p.78

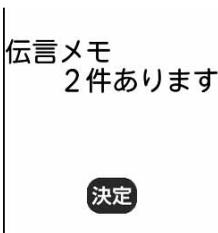
### メニュー-151

## 伝言メモを再生 / 削除する

- 未確認の伝言メモがあるときは、待受画面に新着情報 (→p.26) と  が表示されます。
- 履歴表示制限中や個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→p.157、p.158

### 伝言メモの再生

- 1 待受画面で  を押す



- 伝言メモが録音または録画されていない場合は、伝言メモがない旨のメッセージが表示されます。

- 2 **決定** を押す



- ① 伝言メモの番号
- ② 伝言メモを録音または録画した日付、曜日、時間
- ③ 国際電話がかかってきた場合→p.64
- ④ 着信の種類 (音声電話 / テレビ電話)
- ⑤ 電話帳に登録している場合は名前→p.86  
発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由→p.68
- ⑥ 電話番号 (国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます)

- 3   を押して再生する伝言メモを表示 ▶ **決定** を押す

伝言メモが再生されます。



<音声電話伝言メモ再生中>



<テレビ電話伝言メモ再生中>

- **決定** :  
伝言メモの再生を途中で停止します。
-   /  /  :  
再生中の伝言メモの音量を調節します。

- **Ⓛ**:  
受話口からの再生とスピーカーホン機能を使用した再生を切り替えます（音声電話伝言メモ再生中のみ）。
  - テレビ電話伝言メモ再生中はスピーカーホン機能を使用して再生されます。受話口からの再生への切り替えはできません。
  - マナーモード中にテレビ電話伝言メモを再生するときは、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。「1再生する」を押すと、スピーカーホン機能を使用して再生されます。「2再生しない」を押すと、消音で再生されます。
- 再生が終了すると、伝言メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

## 4 「1削除する」または「2削除しない」を押す

### ■ 削除するとき

「1削除する」▶ **決定** を押す

次の伝言メモの表示画面が表示されます。

- 次の伝言メモがない場合は待受画面に戻ります。

### ■ 削除しないとき

「2削除しない」を押す

伝言メモの表示画面に戻ります。

- **⊖** を押すと待受画面に戻ります。

## お知らせ

- 伝言メモの表示画面で **Ⓛ** を押すと音声電話、**テレビ電話** を押すとテレビ電話をかけることができます。また、サブメニューから発信者番号の通知 / 非通知を選択して音声電話やテレビ電話をかけることもできます。→p.63

## 伝言メモの削除

1件ずつ、またはすべての伝言メモをまとめて削除できます。

〈例〉伝言メモを1件削除するとき

- 1 待受画面で **Ⓛ** ▶ **決定** ▶ **Ⓛ** を押して削除する伝言メモを表示する

- 2 **メニュー** ▶ 「4削除する」 ▶ 「1選択1件」を押す

伝言メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

### ■ 伝言メモを全件削除するとき

- 2 **メニュー** ▶ 「4削除する」 ▶ 「2全件」 ▶ 4~8桁の暗証番号を入力 ▶ **決定** を押す

- 3 「1削除する」を押す  
削除した旨のメッセージが表示されます。

- 「2削除しない」:  
削除を中止します。

- 4 **決定** を押す  
伝言メモの表示画面に戻ります。伝言メモがない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。
- **⊖** を押すと待受画面に戻ります。

## テレビ電話中に画面の設定などを変更する

### カメラのオン / オフ切り替え

相手に送信する映像を、カメラで撮影中のカメラ映像とカメラオフ画像で切り替えます。自分の映像を相手に送信したくない場合などにカメラオフ画像を使います。

- カメラオフ画像を送信中は、外側と内側のカメラを切り替えることはできません。

→p.79

## 1 通話中に(テレビ電話)を押す

カメラをオン／オフに切り替えた旨のメッセージが表示され、映像が切り替わります。



- (テレビ電話) を押すたびにカメラ映像とカメラオフ画像が切り替わります。
- テレビ電話接続中も同様に操作できます。→p.55、p.67

## 外側カメラ／内側カメラの切り替え

- カメラオン (→p.78) の場合のみ切り替えることができます。

## 1 通話中に(カメラ)を押す

外側／内側のカメラを有効にした旨のメッセージが表示され、切り替わったカメラからの映像が表示されます。



- (カメラ) を押すたびに内側カメラと外側カメラが切り替わります。

## 接写撮影への切り替え

約6～11cmのごく近い距離の映像を送信するときは、接写撮影に切り替えて映像のピントを合わせます。

- 外側カメラ (→p.79) の場合のみ有効です。

## 1 通話中に接写切り替えスイッチをQ側に切り替える



接写切り替えスイッチをQ側に切り替えると表示されます。

- 接写撮影を解除するときは、接写切り替えスイッチをQ側に切り替えます。

## くっきり補正の設定

お買い上げ時 くっきり補正オフ

相手の映像の色や明るさのバランスを自動的に補正する機能を設定します。

## 1 通話中に(メニュー) [6] くっきり補正オン」を押す



くっきり補正オンにすると表示されます。

- くっきり補正を解除するには、(メニュー) [6] くっきり補正オフ」を押します。

## お知らせ

- くっきり補正オンにすると、相手の映像の色や明るさのバランスは補正されますが、動きのなめらかさが低下します。動きを優先したいときは、くっきり補正オフでご使用ください。

- くっきり補正をオンにしても、相手の環境によっては、状態があまり変化しなかったり、補正が極端に強調されたりする場合があります。

## 画面の表示方法の変更

お買い上げ時 相手を大きく

テレビ電話中画面に表示される相手の映像と、自分のカメラ映像の表示方法を設定します。相手の映像のみ表示したり、自分のカメラ映像のみ表示したりすることもできます。

- 通話終了後も設定内容は保持されます。

### 1 通話中に 「7画面表示を設定」を押す

- 以降の操作→p.81「テレビ電話中の画面を設定する」操作2～3

## 画面の明るさ変更

お買い上げ時 標準の明るさ

- 通話終了後も設定内容は保持されます。

### 1 通話中に 「8明るさを選ぶ」を押す

- 以降の操作→p.81「テレビ電話中の画面の明るさを設定する」操作2～3

## 親画面の大きさ変更

お買い上げ時 拡大して表示

ディスプレイの中央に表示されている親画面の大きさを設定します。

- 通話終了後も設定内容は保持されます。

### 1 通話中に 「9親画面サイズ変更」を押す

- 以降の操作→p.82「テレビ電話中の親画面の大きさを設定する」操作2～3

## 撮影映像の拡大

- カメラオン(→p.78)の場合のみ利用できません。

### 1 通話中に を押す 表示倍率が変更されます。



カメラ映像が拡大します。

-  を押すたびに次の順に切り替わります。

外側カメラ：

標準 ( $\times 1+$ ) → 2倍 ( $\times 2+$ ) →  
4倍 ( $\times 4+$ ) → 6倍 ( $\times 6+$ ) →  
8倍 ( $\times 8+$ ) → 10倍 ( $\times 10+$ ) →  
12倍 ( $\times 12+$ )

内側カメラ：

標準 ( $\times 1+$ ) → 2倍 ( $\times 2+$ )

 を押すと逆の順で切り替わります。

### テレビ電話画面表示設定

## テレビ電話中の画面を設定する

お買い上げ時 相手を大きく

テレビ電話中画面に表示される相手の映像と、自分のカメラ映像の表示方法を設定します。相手の映像のみ表示したり、自分のカメラ映像のみ表示したりすることもできます。

テレビ電話画面明るさ設定

## テレビ電話中の画面の明るさを設定する

お買い上げ時 標準の明るさ



<相手を大きくした  
場合>



<自分を大きくした  
場合>



<相手の映像のみの  
場合>



<自分の映像のみの  
場合>

- 待受画面で → 「# 詳細な機能・設定」▶ 「5 電話・電話帳の詳細を設定する」▶ 「0 テレビ電話を設定する」▶ 「1 テレビ電話画面の表示を設定する」を押す

画面表示の選択画面が表示されます。

- 「1 相手を大きく」～「4 自画像のみ」のいずれかを押す

画面表示を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 決定** を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

- 待受画面で → 「# 詳細な機能・設定」▶ 「5 電話・電話帳の詳細を設定する」▶ 「0 テレビ電話を設定する」▶ 「2 テレビ電話画面の明るさを設定する」を押す

画面の明るさの選択画面が表示されます。

- 「1 暗くする」～「3 明るくする」のいずれかを押す

画面の明るさを設定した旨のメッセージが表示されます。

- 決定** を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

音声再発信設定

## テレビ電話がつかないときの動作を設定する

お買い上げ時 かけ直さない

テレビ電話をかけたときに相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信があります。「かけ直す」に設定すると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmovaサービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられないときに、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

- ISDN同期64kbpsのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2008年5月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならないことがあります。通話料金が発生する場合もあるため、ご注意ください。

- 1 待受画面で  「[#] 詳細な機能・設定」 ▶ 「[5] 電話・電話帳の詳細を設定する」 ▶ 「[0] テレビ電話を設定する」 ▶ 「[3] 音声再発信を設定する」を押す

自動的に音声電話でかけ直すかどうかの確認画面が表示されます。

- 2 「[1] かけ直す」または「[2] かけ直さない」を押す  
音声再発信動作を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 3 **決定** を押す  
メニュー画面に戻ります。  
●  を押すと待受画面に戻ります。

#### 発信時自画像送信設定

## テレビ電話をかけたときに自画像を送るかどうかを設定する

お買い上げ時 **送る**

自分の映像を送信しないように設定した場合は、相手にはカメラオフ画像が送信されます。

- 1 待受画面で  「[#] 詳細な機能・設定」 ▶ 「[5] 電話・電話帳の詳細を設定する」 ▶ 「[0] テレビ電話を設定する」 ▶ 「[4] 発信時の自画像送信を設定する」を押す

自画像を送るかどうかの確認画面が表示されます。

- 2 「[1] 送る」または「[2] 送らない」を押す  
自画像の送信方法を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 3 **決定** を押す  
メニュー画面に戻ります。  
●  を押すと待受画面に戻ります。

#### テレビ電話画面大きさ設定

## テレビ電話中の親画面の大きさを設定する

お買い上げ時 **拡大して表示**



- 1 待受画面で  「[#] 詳細な機能・設定」 ▶ 「[5] 電話・電話帳の詳細を設定する」 ▶ 「[0] テレビ電話を設定する」 ▶ 「[5] テレビ電話画面の大きさを設定する」を押す  
親画面の大きさの選択画面が表示されます。

- 2 「[1] 標準の大きさ」または「[2] 拡大して表示」を押す  
親画面の大きさを設定した旨のメッセージが表示されます。

- 3 **決定** を押す  
メニュー画面に戻ります。  
●  を押すと待受画面に戻ります。

## テレビ電話切替機能通知

## 音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

テレビ電話と音声電話を切り替えて通話するには、あらかじめテレビ電話切替え通知を開始しておく必要があります。テレビ電話切替え通知とは、自分の端末がテレビ電話と音声電話を切り替えられる端末であることをネットワークに通知しておく機能です。

- 音声電話中やテレビ電話中は、テレビ電話切替え通知の設定を変更できません。
- 圏外では、テレビ電話切替え通知の操作はできません。電波状態のよい所で操作してください。
- お買い上げ時は、テレビ電話切替え通知は開始に設定されています。

- 1 待受画面で  ▶ 「# 詳細な機能・設定」▶ 「5 電話・電話帳の詳細を設定する」▶ 「0 テレビ電話を設定する」▶ 「6 テレビ電話切替え通知を設定する」を押す

1	テレビ電話切替え通知を開始する
2	テレビ電話切替え通知を停止する
3	テレビ電話切替え通知を確認する

- 2 「1 テレビ電話切替え通知を開始する」を押す

テレビ電話切替え通知を開始するかどうかの確認画面が表示されます。

#### ■ テレビ電話切替え通知を停止するとき

「2 テレビ電話切替え通知を停止する」▶ 「1 停止する」を押す

ネットワークに接続され、テレビ電話切替え通知を停止した旨のメッセージが表示されます。操作4に進みます。

#### ■ テレビ電話切替え通知の設定を確認するとき

「3 テレビ電話切替え通知を確認する」▶ 「1 確認する」を押す  
ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。操作4に進みます。

- 3 「1 開始する」を押す

ネットワークに接続され、テレビ電話切替え通知を開始した旨のメッセージが表示されます。

#### ● 「2 開始しない」:

テレビ電話切替え通知を開始しません。

- 4 **決定** を押す

メニュー画面に戻ります。

#### ● を押すと待受画面に戻ります。

#### パケット通信中着信設定

### i モード中にテレビ電話がかかってきたときの対応方法を設定する

お買い上げ時 **テレビ電話優先**

- 1 待受画面で  ▶ 「# 詳細な機能・設定」▶ 「5 電話・電話帳の詳細を設定する」▶ 「0 テレビ電話を設定する」▶ 「7 パケット通信中の着信動作を選ぶ」を押す

パケット通信中にテレビ電話着信があった時の動作を選んでください

1	テレビ電話優先
2	パケット通信優先
3	留守番電話
4	電話を転送する

#### 1 テレビ電話優先:

テレビ電話の着信画面が表示され、電話に出るとパケット通信が切断されます。

**2** パケット通信優先:

パケット通信が継続され、着信履歴に記録されます。

**3** 留守番電話:

留守番電話サービスセンターに接続します。

**4** 電話を転送する:

転送先へ転送します。

## 2 「1 テレビ電話優先」～「4 電話を転送する」のいずれかを押す

パケット通信中の着信動作を選択した旨のメッセージが表示されます。

## 3 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

●  を押すと待受画面に戻ります。

## お知らせ

- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを契約していない場合は、「留守番電話」または「電話を転送する」に設定しても「パケット通信優先」の動作となります。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間を0秒に設定している場合は、本設定に関わらず各サービスが作動します。着信履歴には記録されません。